

# 北海道内における失語症者に関する実態調査について【調査概要】

## 1 調査趣旨

全国で50万人といわれる失語症の方の道内における人数・実態などを把握し、今後の施策（特に失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業）を検討するための基礎資料とする。

## 2 調査対象

道内に在住する失語症の方（R1.8.1現在）

※ 病院に入院中で将来在宅(有料老人ホームや高齢者住宅等も含む)に戻る予定の失語症の方、外来やデイサービスなどを利用されている在宅生活中の失語症の方、あるいは過去に退院して在宅生活を送っている方。

## 3 調査手法

北海道言語聴覚士会を通じて、道士会に所属する言語聴覚士に調査表を送付し、回答時点で把握している状況について、病院・施設単位で回答をいただく。（本調査の回答のため、改めて聞き取りや調査等を行う必要はありません。わかる範囲でご回答ください。）

## 4 調査項目（わかる範囲でご回答をお願いします）

### （1）失語症者の状況等

居住地（市町村名）、年齢、性別、現在の生活状況、身体障害者手帳、要介護状態区分等

### （3）支援等の状況

家族等からの支援の有無、失語症サロンへの参加の有無

### （4）意思疎通支援の必要性について

支援が必要な場合は、具体的な内容を記入する。

### （5）備考

特筆すべき事項があれば記入する。

10月28日（月）24：00まで延長

## 5 回答期間

令和元年（2019年）9月13日（金）から令和元年（2019年）10月~~17~~日（金）まで

10月21日（月）へ延長

## 6 調査表の入手方法・提出方法

### （1）入手方法

北海道言語聴覚士会ホームページのトップページ「お知らせ」欄の「北海道内における失語症者に関する実態」を開きエクセルの「調査表」をダウンロードする。

### （2）提出方法

「調査表」に分かる範囲で入力し、上記調査期間内に下記宛先へメールにて送付する。  
なお、件名は「北海道内における失語症者に関する状況調査」とすること。

【提出先】 E-mail: [jimukyoku@st-hokkaido.jp](mailto:jimukyoku@st-hokkaido.jp) 北海道言語聴覚士会 事務局 宛